

令和7年度 第2回千葉市立博物館協議会

日時 令和8年3月3日(火)

14:00~16:00

場所 加曽利貝塚博物館 多目的室

次 第

1 開 会

2 部 長 挨 拶

3 議 題

(1) 令和8年度の予算(案)と事業予定について

(2) その他

4 閉 会

3 議題

- (1) 令和8年度の予算（案）と事業予定について
→次ページから

- (2) その他

議題1 令和8年度予算（案）と事業予定について

加曽利貝塚博物館

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	加曽利貝塚博物館施設の管理業務委託を実施。 ①警備委託 ②清掃委託 ③草刈業務委託 ④設備関係保守委託他
	イ 設備改修事業	通 年	設備の改修を実施。 ① 臨時駐車場フェンス撤去修繕他
	当初予算額 29,068千円 (31,556千円) ※()はR7予算額以下同じ		
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の収集	通 年	寄贈・寄託資料の受け入れを行う。 考古学に関する専門図書の購入。
	イ 資料の整理保管	通 年	収蔵資料の再整理作業、デジタル化を行う。 また、他の博物館等の求めに応じて、資料や写真の貸出を行う。
	当初予算額 87千円 (87千円)		
(3) 調査研究事業	ア 縄文文化調査研究	通 年	収蔵資料や展示、教育普及に関する調査研究を行う。
	イ 『博物館紀要』の発行	通 年	『博物館紀要』第53号の発行
	当初予算額 198千円 (440千円)		
(4) 展示事業	ア 常設展	通 年	「加曽利貝塚から縄文時代の貝塚をみる」 常設展示①「貝塚を知る」 常設展示②「発掘された加曽利貝塚」 常設展示③「加曽利貝塚の歴史」
	イ 企画展	(3/17)~6/28	特別史跡加曽利貝塚令和7年度発掘速報展
		7/22~9/27	夏の企画展（一般向け、子供向け展示）
		10/20~11/29	開館60周年パネル展
		10/20~2/28	仮称「加曽利B式展（〇〇編）－加曽利の名を持つもうひとつの土器－」
	12/15~2/28	県内縄文遺跡展・連携展※市原歴史博物館	
	3/24~(6/27)	特別史跡加曽利貝塚令和8年度発掘速報展	
当初予算額 1,023千円 (726千円)			
(5) 教育普及	ア 縄文ひろば	毎月第2・第4日曜日	史跡内見学案内、火おこし体験、アングイン編み、貝のアクセサリーづくり、紙芝居などを実施。※学校見学集中期間・夏休み中・年末年始は開催しない予定。 計17回実施予定

イ	縄文春まつり 縄文秋まつり	5月3～5日 10月24・25日	縄文時代の暮らしなどについての体験や学びなどを通して市民に楽しんでもらう集客イベント。 土偶ペーパークラフト・組ひもづくりなどの体験学習をはじめ、学芸員による解説、物販などを行う。
ウ	自然観察ワークショップ	未定	加曽利貝塚周辺に生息している動植物の特徴や生態などについて学ぶワークショップ。 対象：小3以上 定員：各回30人 事前募集
エ	夏休み縄文ウィーク	8月12～15日	縄文時代の暮らしなどについての体験や学びなどを通して親子で楽しんでもらえるイベント。 土偶ペーパークラフト・組ひもづくりなどの体験学習ほかの夏休みを家族で縄文を学べる内容を予定。
オ	博物館講座	8月29日	夏の企画展にあわせた内容の一般向けの講座。 対象：一般 定員：300人 当日先着 会場：生涯学習センター 2階ホール
カ	特別研究講座	12月19日	考古学の新たな研究法を模索するため、考古学の研究者を招き、博物館学芸員と共に講義を行う。 研究者・上級者向けの講座。 対象：一般 定員：300人 当日先着 会場：生涯学習センター 2階ホール
キ	縄文時代研究講座	11月14日 12月6日 1月16日 2月13日	縄文時代をテーマにした一般向けの計4回の講義。 中級者向けの講座。 対象：一般 定員：各回70人 事前募集 会場：生涯学習センター 大研修室
ク	考古学基礎講座	6月6日	考古学を知りたい方に向けた基礎的な講義を行う。 初心者向けの講座。 対象：一般 定員：70人 事前募集 会場：生涯学習センター 大研修室
ケ	加曽利貝塚発掘調査体験	10月10日 10月31日	加曽利貝塚発掘調査地点での発掘調査体験を実施する。 ※中高生の部（10日）、大学生・社会人の部（31日） 各日定員：10人 事前募集
コ	職業講話への派遣及び職場体験の受入れ	通年	市内外の中学校等からの要望を受け、職業講話への講師派遣や職場体験の機会を提供する。
サ	講師派遣	通年	一般団体・組織・施設などからの要請に応じて学芸員を講師として派遣する。
シ	体験プログラム	日・祝及び最終週の土	来館者向けに子どもから大人まで楽しめる体験（R7年度：発掘体験・縄文ゲーム塾）を実施。（委託事業）
ス	博物館実習の受入れ	7月23日～ 7月31日	学芸員資格取得課程履修学生の館務実習の受入れ。 資料の整理、資料の取り扱い方、展示資料の作成や展示作業などを行う。

	セ 博物館ボランティアの育成・活用	通 年	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。 募集：4月 基礎研修：6月2・9・16日（全6回※3日間） 専門研修：5月20日～24日（全5回）
	当初予算額 22,930千円		(19,173)千円
(6) その 他	ア 日本博物館協会	11月中旬	全国博物館長会議（7月初旬）
	イ 千葉県博物館協会	5月下旬	総会・各種委員会（広報委員会）
	ウ 縄文サミット	8月下旬	秋田県北秋田市（予定）
	当初予算額 539千円		(173千円)
合計 予算額		53,845千円	(52,155)千円

郷土博物館

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係 保守委託 ④危険木伐採・剪定他
	イ 設備改修事業	通 年	設備の改修などを実施 ①収蔵庫温湿度維持修繕 ②免震層ポンプ修繕 ③構造調査他
	当初予算額 31,848千円 (227,924千円) ※()はR7予算額以下同じ		
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の収集	通 年	寄贈・寄託等により、展示・研究等に必要な資料の収集 を行う。
	イ 資料の整理保管	通 年	収蔵資料の再整理作業を行う。カードの再確認、資料の デジタル化を行う。 また、他の博物館等の求めに応じて、資料や写真の貸 出を行う。
	ウ 新規収蔵資料燻蒸	2 月	新たに寄贈、寄託等を受けた資料の燻蒸を行う。
	エ 収蔵庫・展示室 等環境調査	7月、11月	博物館内の有害虫の有無、浮遊菌類の採取、空気汚染、 温湿度、照度などの測定を行い、資料保全上特に問題と なる要素を把握する。※展示室は可能な範囲のみ。
	当初予算額 1,219千円 (5,028千円)		
(3) 調査 研究 事業	ア 館内調査研究	通 年	収蔵資料や展示、教育普及に関する調査研究を行う。
	イ 千葉市民俗資料 調査	通 年	高度経済成長期以前の千葉市における生活の様子を聞 き取り調査や民俗資料を収集することによって記録・ 保存する。
	ウ 千葉氏関係資料 調査	通 年	各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収 集し、調査する。
	エ 『研究紀要』の 発行	3 月	『研究紀要』第33号の発行 800部
	当初予算額 734千円 (7,168千円)		

(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	千葉市の歴史がわかる通史展示 コンセプト:「郷土千葉のあゆみ、そのダイナミズム(躍動感ある変遷)がわかる」博物館への再生 展示テーマ:陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」 1階 歴史の楽しさ学びラウンジ、企画展示室・講座室 5階 ちば一望ラウンジ(歴史年表など) 4階 原始・古代(千葉氏プロローグ) 3階 中世(千葉氏と千葉のまち) 2階 近世(陸と海の結節点)・近現代(千葉市誕生) ※動線順
	イ 特別展	7月18日～ 9月6日 10月10日 ～12月6日	千葉開府 900 年記念特別展「全国に広がった千葉市」(仮称) 千葉氏サミット参加自治体などで活躍した千葉氏の足跡や役割、文化を集結させ、ゆかりの品々を紹介する。 千葉開府 900 年記念特別展「千葉市がつくったまちの 900 年」(仮称) 千葉氏が本拠として以降、発展した千葉のまち。原始・古代から近代にいたるまでの 900 年間の変遷を史料をもとに検証する。
	当初予算額 8,988千円 (2,891千円)		
(5) 教 育 普 及 事 業	ア 体験学習	毎月 第3土曜日	中世の鎧や直垂、桂、小袖、近世の袴(いずれも複製)などを着用し、衣装の歴史と当時の生活について学ぶ ※現在、主に鎧の試着体験を実施
	イ 出前授業、館内学習	通 年	エデュケーターの指導により、出前授業や館内学習を行う。
	ウ 火縄銃演武	8月17日	火縄銃の実射(空砲)を行う。銃の現物資料や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で見学し、歴史理解を深める。
	エ 歴史講座	1月～2月	千葉経済大学と共催で、特別展と関連した内容をわかりやすく解説する講座を実施
	オ 千葉氏関連講座	6月14日、 12月	千葉氏の歴史に関する市民向けの講座を実施する。 12月は千葉大学との共同開催。
	カ 博物館実習の受け入れ	8月14日～ 8月21日	学芸員資格取得課程履修学生の館務実習の受け入れ。 資料の整理、取り扱い方、展示作業などを行う。
	キ 職場体験の受け入れ	通 年	市内の中学校からの要望に対応し、職場体験の機会を提供する。
	ク 博物館ボランティアの育成・活用	通 年	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。
当初予算額 2,675千円 (3,472千円)			

(6) 市史編さん事業	ア 市史編さん資料調査	通 年	千葉市域に係る歴史資料の調査を行う。 ①千葉市域関係史料 ②『史料編 近現代』関係資料
	イ 史料編の刊行	3 月	『千葉市史 史料編 近現代』第3巻目(戦後～)の編集を行い、3月に刊行する。
	ウ 千葉市史研究講座	1月31日 2月7日	「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説する。 対 象：市民(定員未定)
	エ 初級古文書講座	下 半 期 年 6 回	古文書の解説を通じて、江戸時代の郷土を理解する。 対 象：市民(定員午前・午後とも未定) テーマ：江戸時代の村の史料を読む
	オ 中級古文書講座	下 半 期 年 6 回	初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける。 テーマ：江戸時代の村の史料を読む 全6回
	カ ニューズレターの発行	9月、3月 年 2 回	ニューズレター「千葉市史編さんだより」の発行 千葉市史編さんの状況を紹介するため発行。現在の事業内容、講座案内、資料紹介などを掲載する。
	キ 『千葉いまむかし』の発行	3 月	『千葉いまむかし』39号の発行 千葉市域や関連地域に関する論文、史料の紹介、市史編さん事業の記録などを掲載する。
当初予算額 6,614千円 (3,688千円)			
(7) 協議会その他	ア 千葉市立博物館協議会	8月、3月頃	2回開催予定
	イ 千葉県博物館協会	5月	総会(千葉県立中央博物館)
	ウ 関東博物館協会	日程未定	総会(会場未定)
	エ 日本博物館協会	日程未定	全国博物館長会議(会場未定)
	オ 全国歴史民俗系博物館協議会	日程未定	全国博物館大会 年次集会
当初予算額 104千円 (154千円)			
合計 予算額 52,182千円 (250,325千円)			

【博物館法】

(博物館協議会)

第二十三条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

【千葉市立博物館設置条例】

(博物館協議会)

第3条 [博物館法\(昭和26年法律第285号\)第23条第1項](#)の規定に基づき、千葉市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 [博物館法第24条](#)の規定による委員の任命は、次に掲げる者のうちから行うものとする。

(1) 学校教育の関係者

(2) 社会教育の関係者

(3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者

(4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成24条例23・令和5条例11・一部改正)

千葉市立博物館協議会委員 名簿

任期：令和7年1月9日～令和9年1月8日

委員名	現職など	専門分野
かわじり あきお 川尻 秋生	早稲田大学文学学術院教授	日本古代史
しまだて りこ 島立 理子	千葉県立中央博物館資料管理課長	民俗学 博物館地域連携
すずき かずひこ 鈴木 一彦	千葉大学講師	博物館学 博物館経営
ひろた なおゆき 広田 直行	日本大学生産工学部建築工学科教授	コミュニティ施設計画 公共施設再編計画
ほその まさこ 細野 正子	千葉市立美浜打瀬小学校校長	学校教育

令和8年3月現在（50音順）